

<ニコニコ・財団・米山委員会>

	今回		累計	
ニコニコ	24件	33,000円	724件	799,000円
財団	2件	20,000円	28件	292,000円
ベネファクター	0件	0円	2件	160,000円
米山	1件	20,000円	27件	350,000円

<ロータリー財団>

柏川委員

白井会員→「パープレイ72才の誕生日祝いありがとうございました」。鶴丸会員からいただきました。

<米山奨学委員会>

柏川委員長

鶴丸会員からいただきました。

本日のプログラム

<会員卓話>

菅会員

百合丘のクラブで社会に対する奉仕の精神を学んで、週1回みなさんと顔を合わせ、入会して良かったと感じています。私の専門領域は呼吸器外科、呼吸器内科、一般内科で、木曜日には内科外来で診療しています。本日は自分の仕事を紹介させていただきたいと思っております。

[医療法人社団総生会とは]

5つの施設(事業所)からなる医療法人

- ①麻生総合病院②麻生リハビリ総合病院③総生会ロイヤルホーム④総生会訪問看護ステーション⑤総生会居宅介護支援センター (ロイヤルホーム内)

[麻生総合病院]

- ・所在 川崎市麻生区上麻生6丁目
- ・開院 昭和57年11月麻生病院として開院
- ・院長 菅泰博
- ・ベッド数 一般病床199床の急性期病院
- ・救急車の年間受け入れ台数 約3454台(平成24年度)
- ・外来患者数 約560名/日

[総生会ロイヤルホーム]

- ・開設 平成23年度10月
- ・介護付き有料老人ホーム 定員68名
- ・川崎市初の病院が運営するや有料老人ホーム

最大のアピールポイントは、急な病気などでも必ず麻生病院が受け入れるので、安心して入居していただけることです。

[麻生総合病院の診療科紹介]

内科・外科・整形外科・脳外科・泌尿器科・眼科・耳鼻科・形成外科・皮膚科・麻酔科
スライドと資料を使って、各診療科の詳しいご紹介がありました。

<会員卓話>

赤本会員

新聞の販売業の3代目で、創業は大正14年に都内で創業し、新聞販売業一筋でやっております。私は日本経済新聞社に勤めておりましたが、2003年に退職して2005年に名義を持ち現在の新聞販売店の代表になりました。

新聞販売業界は少しずつ状況が変化し100年以上続く業界の中、初めて本当の危機に直面しています。新聞の発行部数の推移を見ると、2008年以降(リーマンショック)100万部落ちています。世帯数と一世帯あたりの部数の推移を見ても、2008年に世帯普及率が100%を割り、以降減少し続けてます。

情報通信サービスへの年間世帯支出の推移を見て、1994年と2011年を比較すると約倍の支出となっています。日本経済が停滞している中、リーマンショックで更に加速してしまいました。新聞購読の解約にあがる理由としては、景気が悪い、所得が伸び悩んでいる、情報通信にかかる費用が一昔前より倍近くなり、可処分所得の配分が携帯電話やインターネットに取られて、更にそこで新聞が取れるか、ということです。優先順位が下がってしまった事が新聞を読まない人が増えた原因と考えてます。

インターネットの普及というのは時代の流れなので、以前のような拡張員で営業するというより、新聞社ではコンテンツの充実や教育分野『天声人語の書き写しノート』など、新聞活用のアプローチをしています。そこで販売店はどういうふうに残るかというのが、近々の課題となっており、配る商品がなくなれば商売が成り立たなくなってしまうのです。大分淘汰された牛乳販売店の例でいうと、現在では通常の小売店で売っていない商品の宅配販売、健康食品ラインナップの販売、宅配日の集約でコストの削減などし、ダウンサイジングで生き残りの方法があるか模索しています。また文具業界ではデザインで商品力を高めています。今後新聞販売店も基本の業務ブラッシュアップし、企画力、サービスをどう作っていくかが私共の課題となっています。少しでも努力し模索しロータリーの仲間色々な事を教えてもらいながら現役を引退するまで席をおかせてもらえればと願っております。

